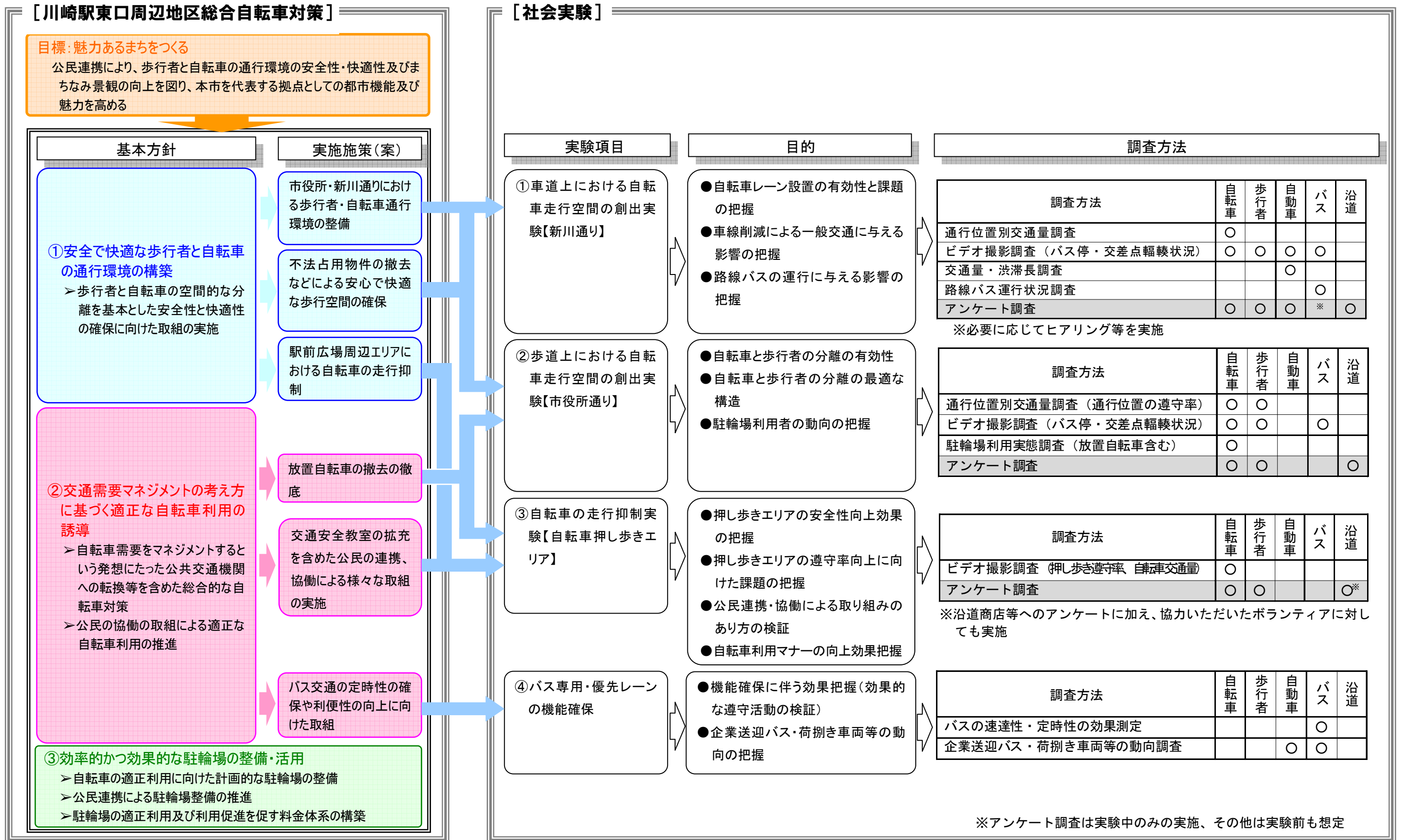


川崎駅東口周辺地区総合自転車対策 社会実験 調査・検証内容(案)

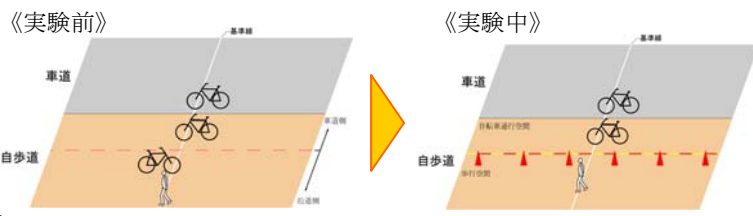
1. 社会実験における検証項目



2. 社会実験における調査概要

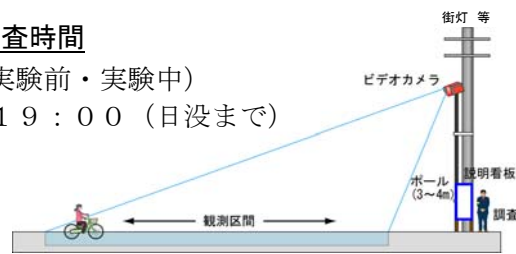
A. 通行位置別交通量調査

- 目的
 - ・創出した自転車走行空間の有効性の把握
- 調査概要
 - ・通行位置別・進行方向別の自転車・歩行者の交通量を計測し、通行ルールの遵守率・交通量の変化を調査
- 調査時期・調査時間
 - ・2回実施※(実験前・実験中)
 - ・7:00~19:00(12時間)
 - ※その他に簡易調査を実験中に2回程度実施



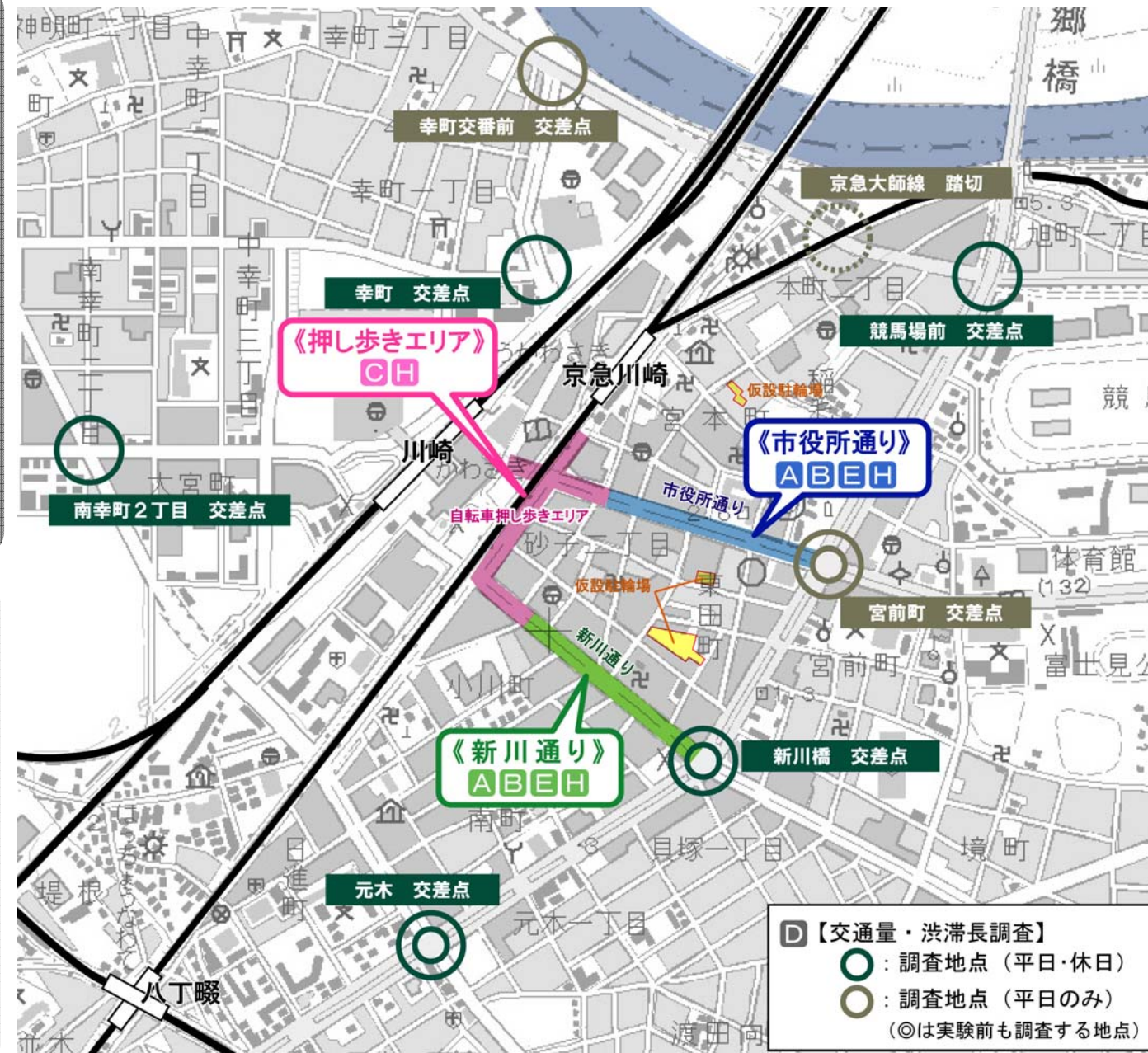
B. ビデオ撮影(走行空間利用状況)

- 目的
 - ・創出した自転車走行空間のバス停や交差点における運用上の課題を把握
- 調査概要
 - ・バス停や交差点においてビデオ撮影を行い、自転車と歩行者・自動車等の錯綜状況や回避挙動の調査
- 調査時期・調査時間
 - ・2回実施(実験前・実験中)
 - ・7:00~19:00(日没まで)



C. ビデオ撮影(押し歩きエリア利用状況)

- 目的
 - ・押し歩き施策実施の効果および課題の把握
- 調査概要
 - ・押し歩きエリアの入口および銀柳街等においてビデオ撮影を行い、自転車の押し歩き遵守率、錯綜状況を調査
- 調査時期・調査時間
 - ・2回実施※(実験前・実験中)
 - ・7:00~19:00(日没まで)
 - ※その他に簡易調査を実験中に2回程度実施



D【交通量・渋滞長調査】
 ○ : 調査地点(平日・休日)
 ○ : 調査地点(平日のみ)
 (◎は実験前も調査する地点)

D. 交通量・渋滞長調査

- 目的
 - ・車線削減による一般交通に与える影響の把握
- 調査概要
 - ・主要交差点において、車種別車線別進行方向別の交通量および各信号現示における渋滞長を調査
- 調査時期・調査時間
 - ・3回実施(実験前×1・実験中(平・休))
 - ・7:00~19:00(12時間)

E. 路線バス運行状況調査 (バスの速達性・定時性の効果測定)

- 目的
 - ・路線バスの運行に与える影響の把握
- 調査概要
 - ・実験実施区間における路線バスの通過所要時間を計測し、バスの運行状況を調査
- 調査時期・調査時間
 - ・2回実施(実験前・実験中)
 - ・1日3回(7時~9時、12時~14時、17時~19時)

F. 駐輪場利用および 放置自転車実態調査

- 目的
 - ・駐輪場利用者の動向調査
- 調査概要
 - ・調査対象エリア内の駐輪場利用台数(仮設駐輪場含む)および放置自転車位置と台数を調査
- 調査時期・調査時間
 - ・1回実施※(実験中)
 - ・1日3回(9時台、12時台、16時台)
 - ※実験前は既存資料使用
- 調査対象エリア
 - ・実験エリア周辺

G. 路上駐車・荷捌き車両の動向調査

- 目的
 - ・車線削減・路上駐車対策による、路上駐車・荷捌き車両の動向把握
- 調査概要
 - ・調査対象エリアの路上駐車車両等を、車種別に駐車位置・駐車台数等を調査
- 調査時期・調査時間
 - ・1回実施※(実験中)
 - ・7:30~11:30(3時間)
 - ※実験前は既存資料使用
- 調査対象エリア
 - ・実験エリア周辺

H. アンケート調査

- 目的
 - ・実験の満足度、取り組みの賛否、本格運用に向けた課題等の把握
- 調査概要
 - ・街頭でアンケート票を配布し、郵送等により回収
 - ・必要に応じてヒアリングの実施
- 調査時期・調査時間
 - ・実験中適宜実施